



1月のテーマ：さらに深くロータリーを知ろう

特集記事

〈2009～2010年度 下半期スタート〉



◇1月8日、七尾鹿島四RC合同新年互例会参加に先だち、熊甲神社に於いての初参りで活動がスタートした。福井会長はじめ、ひとり一人が神殿に玉串を奉てんした。色々なお祈りの中で共通したのは、会員増強に向けた思いではないでしょうか。



日時：平成22年1月8日(金) PM18:30～ 場所：和倉温泉「あへの風」/例会司会 七尾RC副SAA 戸田 和伸 君

第1822回例会 〈七尾鹿島四ロータリークラブ合同新年互例会〉

1 点 鐘 七尾RC会長 高沢 良英 氏

2 国 歌「君が代」/ ロータリーソング「奉仕の理想」

3 ゲスト ◇石川県観光交流局 局長 三国 栄 様
◇パストガバナー 前山 正一 様 / 久保 順一 様
◇第三分区ガバナー補佐 坂室 正昭 様
◇米山奨学生 孫 岐 さん (七尾みなとRC) 李 洋 さん (七尾RC)
◇地区国際青少年交換学生 アンドリュウ・マクロクラン 君 (七尾みなとRC)

4 出席クラブ 富来RC・志賀RC・羽咋RC・中島RC・中能登まほろばRC・七尾みなとRC・七尾RC

5 会長挨拶 七尾RC会長 高沢 良英 氏

◇新年おめでとうございます。皆様方にとって、希望に満ちた良い年でありますように、ロータリークラブにとりましては今日から下半期のスタートです。各クラブでは、いろいろと行事等計画されていると思いますが、会員皆様の努力と協力で滞りなく行われるようにお祈りいたします。ジョン・ケニーRI会長の唱えるテーマ「ロータリーの未来はあなたの手のの中に」この精神を忘れず、一歩でも前進出来るように協力していこうではありませんか。お忙しい中、石川県観光交流局長・三国栄様にお越しいただきました。新年互例会に、こうして七つのクラブが集り、親睦を深め、意見・情報交換をして有意義な会になるようご協力をお願いします、新年の挨拶とします。

6 卓話「石川県の観光施策について」 石川県観光交流局長 三国 栄 氏

◎国内からの誘客

北陸新幹線の開業は2014年の開業が確実になった。(東海道新幹線より50年遅れでしかも東海道は、全額、国費で建設され、北陸は三分の一地元負担がある。)観光誘客の絶好のチャンスです。金沢に来たお客様を、能登へと誘導するのが県の仕事です。4年後を見据え、昨年4月、県東京事務所を担当課長を配置した。

- ①修学旅行の誘致 (修学旅行は3年前に計画・平日の宿泊)
- ②コンベンションの誘致 (3大都市に本社があり金沢に支社のある企業にアンケートの結果、社員教育・支社長会議等考えとの回答) 国際会議・医薬系学会の重点誘致
- ③合宿・学習 (特に七尾市が力を入れ今年は、七尾で10,000人目標。東洋大学七尾合宿、箱根駅伝2年連続総合優勝。)
- ④能登ふるさと博の充実 (能登半島地震により、落ち込んだお客様を取り戻すために始めたキャンペーンを今後は開業を見据えたキャンペーンに) 夏から秋・冬と2回に分けて開催 (冬場対策で、カキ・ブリ・能登の食材を活用したイベント等)
- ⑤七尾市と連携 (能登島水族館にジンベエザメを入れる・長谷川等伯没後400年イベント)
- ⑥ネンリンピック全国大会開催 (10月8日～12日) 選手・家族、県外より約15,000人。七尾市サッカー・羽咋市剣道
- ⑦その他 (中京圏へのPR・東海自動車道利用客の誘致)

◎海外からの誘客

石川県を訪れた海外からのお客様約19万人。内訳は ①台湾9万人②韓国2万1千人③ヨーロッパ圏1万9千人④アメリカ1万6千人⑤中国6千人⑥その他の国3万8千人である。国土交通省も、海外からの誘客予算を3倍に増やした。県では、台湾より誘客を増やすために、ターゲットをしぼり宣伝しているが、特に、台湾スキー協会に働きかけている。スキー協会は人数が少ないが、他のスポーツの役員を兼ねている人が多い。七尾地区では、七尾市と一緒に、サイクリングの誘客に力を入れている。西湾一周コースは、景色が良く、日本の伝統的な民家、温泉、起伏があり評判がいい。加賀地区はスキー・ゴルフのお客様を増やしたい。これからも皆さんと共に頑張りたい。注)「石川県の観光施策～平成21年主な取り組み」と題した資料を配布し、講演しました。能登地区の話題を中心に要約しました。



高沢会長挨拶



お揃いで



参加の皆さん②



参加の皆さん⑤



参加の皆さん③



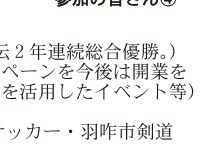
参加の皆さん⑥



参加の皆さん④



参加の皆さん⑦



参加の皆さん⑧



参加の皆さん⑧



祝宴の始まり



参加の皆さん①



参加の皆さん⑨



参加の皆さん⑩



卓話 三国局長